

五月人形とつるし飾りの山十邸で聞く

「おはなし会」を訪問

「おはなしなごなご」平成28年5月5日（木）

古民家山十邸で、4月20日から5月23日までの間『五月人形とつるし飾り』が開催され、今回初めての試みとして5月5日の「こどもの日」に子供向けイベントとして「しんぶん紙でかぶとづくり」とサポセン登録団体「おはなしなごなご」による「おはなし会」が開催されると聞き、訪問してきました。当日は、好天に恵まれ、親子や友人同士で訪れた方々と一緒に、「おはなしなごなご」による、素話や紙芝居を聞きました。また、個人ボランティアの佐藤さんから新聞紙のかぶと作りを教わりました。



爽やかな風が吹き抜ける部屋で、かぶとを作り昔話を聞き、童心に帰って楽しませていただきました。おはなし会は、手遊びや小道具を使うなど、聞く者をあきさせない工夫が随所にあり、なお一層お話の世界に引き込まれていきました。本日の演目、素話「くわすにようぼう」「ぼたもちがえる」、紙芝居「あんもちみつ」、指人形「からすの親子」等は、子どもの日の古民家での「おはなし会」に合わせて選ばれたそうです。

代表の小関さんによると、「おはなしなごなご」の皆さんは、小中学校や公民館のイベントでの活動の他にも、県立あいかわ公園で毎月第1土曜日に行われている『たのしいおはなし会』でも活躍されているそうです。

皆さんもお話を聞いて、楽しいひと時を過ごしてみませんか。

